

T17

# 製品・サポート情報の プロジェクトマネジメントを学ぶ、指導する 執筆工程

～標準制作工程検討ワーキンググループ公開討論～

①テクニカルライターのためのパラグラフライティング

2022年8月24日（水）

若山 陽介 標準制作工程検討ワーキンググループメンバー

# アジェンダ

1.概要

2.パラグラフの構造と実例（1パラグラフ）

3.パラグラフの構造と実例（複数パラグラフ）

4.パラグラフの構成を考える

5.読み手の読み方を考えながら書く

まとめ

## 1.概要

# パラグラフライティングとは

### ■ パラグラフライティングとは

- パラグラフの集まりで文章を書くこと

### ■ パラグラフとは

- ある考え方にそってきちんと作られた文章のかたまり。ある一つの話題についてある一つのこと（考え）を言う（記述する、主張する）もの
- パラグラフ（paragraph）は日本語に直訳すると「段落」だが、日本語作文上での文の区切りとしての段落、読みにくくなるのを防ぐための区切りとしての段落とは定義が異なる
- 小学校3年生でまず習うのが、「形式段落」。改行して1字下げで始まる文のまとまりのこと。小学校4年生で、この形式段落のいくつかを、意味のつながりでひとまとめにした「意味段落」を習う。このどちらともまた異なる

## 2.パラグラフの構造と実例（1パラグラフ）

# パラグラフの構造

### ■ トピックセンテンス

- パラグラフに、その中で説明しようとする主な内容を、一文で表したトピックセンテンスがあること
- パラグラフは、それをさらに凝縮した「見出し」がつけられるようなかたまりであること（見出しを必ず付けるわけではない）

### ■ サポートセンテンス（トピックセンテンス以外のセンテンス）

- パラグラフに含まれるトピックセンテンス以外の文は、トピックセンテンスを詳しく説明するもの、補強するもの、他のパラグラフとの関連を説明するもの、であること
- 各文とトピックセンテンスの関係を説明できるものであること（トピックセンテンスと無関係な文はそのパラグラフには含まれないこと）

## 2.パラグラフの構造と実例（1パラグラフ）

# パラグラフの実例（1パラグラフ）

Facebookのページ



添付文書を含む多様なトリセツについて、つかう視点で議論するコミュニティです。トリセツをつかう人、評価する人、表現術を研鑽して伝承する人、メディア関係者、つくる人などが集います。学術集会やイベントでの討論のヒントを探したり、業務に活かす情報源を知る場としても利用できます。医療現場に関わる皆様のご参加をお待ちしております。

トピック  
センテンス

サポート  
センテンス

サポート  
センテンス

サポート  
センテンス

## 2. パラグラフの構造と実例（1パラグラフ）

# パラグラフライティングにおけるトピックとは

- 辞書の定義そのもの（小学館/デジタル大辞泉より）
  - 論題、題目。話題になる事柄・出来事。また、話題
- 規格やガイドブックとは定義が異なる
  - 単一のテーマを扱った見出しをもつ、情報製品の一貫した部分  
（IEC/IEEE 82079-1:2019用語集より）
  - 受け手から見て一定の意味を持つ情報のまとまり。または単にひとまとまりの情報  
旧来からある構造化文書作成技術における「モジュール」と類似する概念だが、「トピック」はモジュールよりも小さな粒度（例えば情報システムが処理する単位）で運用する場合を包含する概念。  
（日本語スタイルガイドより）

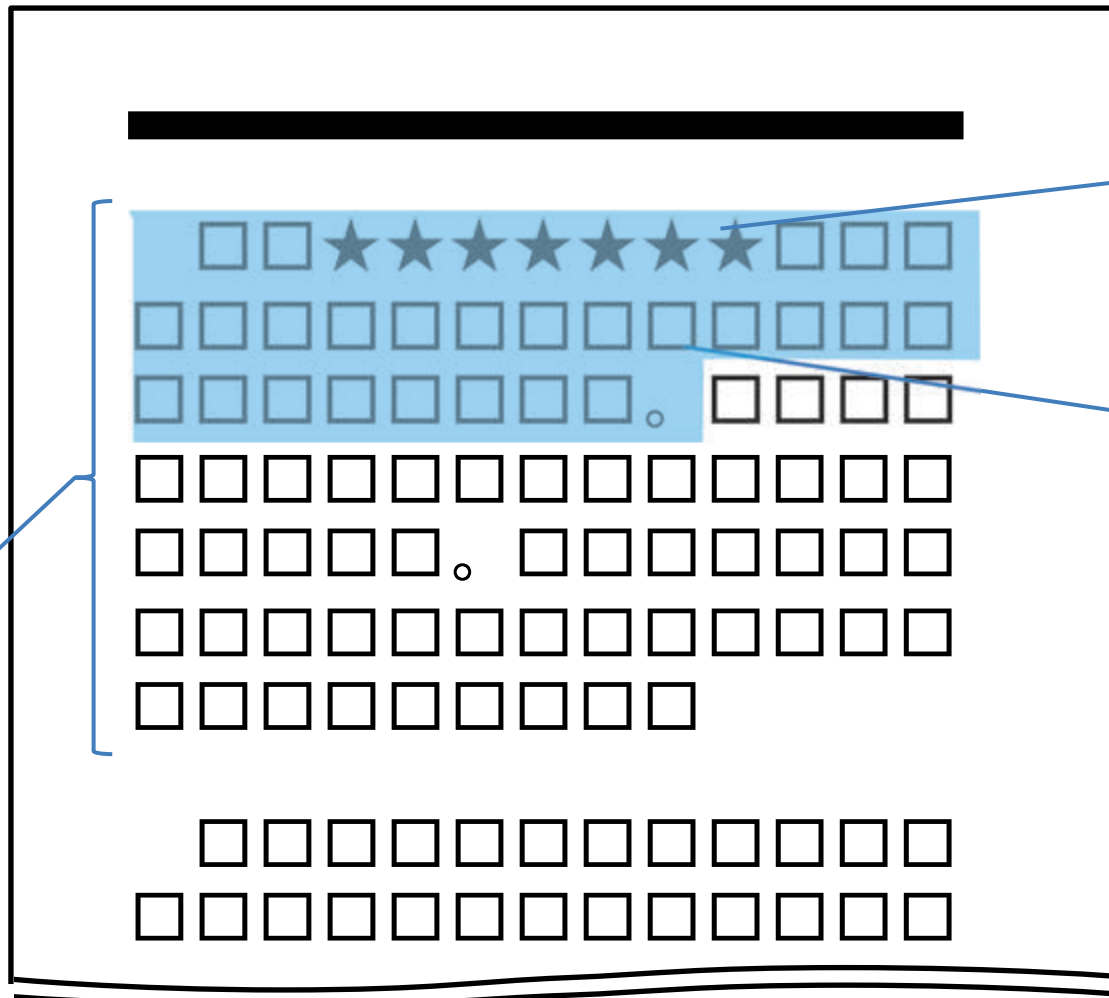
## 2.パラグラフの構造と実例（1パラグラフ）

# トピックセンテンスとは

- パラグラフの内容の核心部分を一文で表したものをトピックセンテンスと呼ぶ
  - トピックを含むセンテンス
  - トピックそのものを表しているセンテンス
- パラグラフの中には、必ず含める
- わかりやすいパラグラフにするためには、トピックセンテンスはパラグラフの先頭におくのが望ましいとされている
- トピックセンテンスには必ずキーワードを入れるようにする
- 日本語の場合、不自然になることもあるので、無理にすべてのトピックセンテンスを先頭に置く必要はないが、かならずトピックセンテンスを含むようにし、またどの文がそれか明確にわかるようにする
- 逆接「しかし」を使った場合は、その後にくる結論がパラグラフのトピックになるようにする

## 2. パラグラフの構造と実例 (1パラグラフ)

# トピックとトピックセンテンスのイメージ



★：キーワード  
トピックセンテンス  
中に出現

トピックセンテンス

パラグラフ

### 3.パラグラフの構造と実例（複数パラグラフ）

## パラグラフの実例（複数パラグラフ）

#### 【記事】 認知心理学からTCの基本を確認しよう

記事 事務局 小田嶋

パラグラフ

テクニカルコミュニケーターが積年の課題として取り組んでいる「理解する」「わかりやすい」について、**認知心理学**の理論や知見からテクニカルコミュニケーターに対して提案を行います。理解しやすい文章を書く、説明をわかりやすくする、という課題解決に向けた取り組みのヒントを得ていただくために特別セミナーを企画しました。2021年7月に20分間のセッションとして公開した内容（本サイトにて記録動画公開中）を、4回に分けて各回90分間で詳述します。

4月20日の第1回は「認知心理学の基本を理解する」、6月22日の第2回は「認知心理学から読み・書きを理解する」、7月の第3回は「認知心理学が読み・書きに提案できること」、9月の第4回は「わかりやすさに関する認知心理学研究想定した読み手に応じた情報提供」を採り上げます。また、正確な理解と共感を得られる表現について考察を、各回毎にファシリテーターと講師の対談形式にて行います。

メーカーでマーケティング・設計・製造、・客様対応などに関わっている方、ドキュメント制作担当者・責任者、ライター、翻訳者、安全に取り組む技術者・責任者、海外関係部門の担当者・マネージャー、品質部門担当者・責任者にお奨めします。

詳細と申込方法は、下記でご確認ください。

参加申込書（PDF）：

[seminar\\_220325](#) [ダウンロード](#)

関連リンク：[【動画】理解する、わかりやすい、を知ることから始めよう](#)

トピック  
「認知心理学を紹介  
します」

トピックセンテンス

サポートセンテンス

トピックセンテンス

サポートセンテンス

トピックセンテンス

## 4.パラグラフの構成を考える

# パラグラフの構成を考える

### ■ パラグラフの目的を明確にする

- 目的（やっていること）が明確であり、その目的に関係ない内容を含んでいない

### ■ 強調点を明確にする

- 強調したい点が明確である（繰り返し述べても良い）

### ■ 接続詞で流れを示す

- （後述）

### ■ 型で流れを示す

- （後述）

## 4.パラグラフの構成を考える

# 接続詞で流れを示す

- 内容の流れが明確になるように、接続詞を使う。しかし、接続詞を多用しないですむくらい流れがスムーズな方がよい
  - 例：カナダは多民族国家であると言われる。したがって、カナダには英語とフランス語を母国語として話す人々が共存しているのである。しかしながら、イギリス系、フランス系の人々が移住する前から多くの先住民がカナダには存在した。それゆえに、これらの人々もカナダに住む民族を構成している。
  - 修正例：カナダは多民族国家であると言われる。\_\_カナダには英語とフランス語を母国語として話す人々が共存しているのである。しかしながら、イギリス系、フランス系の人々が移住する前から多くの先住民がカナダには存在した。\_\_これらの人々もカナダに住む民族を構成している。
- 逆接の接続詞（しかし）は、一般的な見方を紹介し、それを「しかし」で否定することで、自説を述べたり、述べることを強調するきっかけとできる
- 順接の接続詞（したがって、よって、ゆえに、すると、そのため など）は、関係性を強調したいときに限定して使うようにする

## 4. パラグラフの構成を考える

# 型で流れを示す (1)

- 論理関係、因果関係、抽象度、重要度などは固定した順序で記す（順番を固定しないと分かりにくくなる）
- 起承結（実用日本語表現辞典より）
  - 物事を陳述する仕方で、話題の導入、詳述、結論、と進めていく方式。一般的な型とされる「起承転結」の「転」を、結論の後に付加的に述べる点が特徴となっている
- 内容の展開方法（論文「段落とパラグラフの構造と方法について」村越行雄2015年3月より）  
以下6つの展開方法がある
  - 時間（時間の順序に従って並べる）
  - 空間（空間的に左から右へ、上から下へ、近くから遠くへ）
  - 単純から複雑へ（単純な見慣れたものから複雑なものあるいは見慣れないものへ）
  - 比較あるいは対照
  - 一般的から個別へ（メインアイデアあるいは一般的印象から実例などの詳細な事柄へ）
  - クライマックス（特定のものから始めて最後に完成させる）

## 4.パラグラフの構成を考える

# 型で流れを示す (2) 型の例

- 例 1 : 世界には多数の国が存在する。日本はその中の一国である。日本を含む東アジア地域に位置するのは、中国、台湾、韓国などの国である。

↓ (抽象度、大から小の順に変更)

- 例 1 修正 : 世界には多数の国が存在する。東アジア地域に位置するのは、中国、台湾、韓国などの国である。日本はその中の一国である。

- 例 2 : 最初に起きた出来事は、ドイツのポーランド侵攻である。その後、ドイツはロシアにも侵攻を試みる。そのわずか前に、フランスにも侵攻している。

↓ (論理関係、時系列順に変更)

- 例 2 修正 : 最初に起きた出来事は、ドイツのポーランド侵攻である。その後、フランスにも侵攻している。そして最後に、ドイツはロシアにも侵攻を試みる。

## 4.パラグラフの構成を考える

# 型で流れを示す (3) 複数のパラグラフを起承結で論理展開

### 【記事】 認知心理学からTCの基本を確認しよう

記事 事務局 小田嶋

パラグラフ

テクニカルコミュニケーターが積年の課題として取り組んでいる「理解する」「わかりやすい」について、**認知心理学**の理論や知見からテクニカルコミュニケーターに対して提案を行います。理解しやすい文章を書く、説明をわかりやすくする、という課題解決に向けた取り組みのヒントを得ていただくために特別セミナーを企画しました。2021年7月に20分間のセッションとして公開した内容（本サイトにて記録動画公開中）を、**4回に分けて**各回90分間で詳述します。

4月20日の第1回は「認知心理学の基本を理解する」、6月22日の第2回は「認知心理学から読み・書きを理解する」、7月の第3回は「認知心理学が読み・書きに提案できること」、9月の第4回は「わかりやすさに関する認知心理学研究想定した読み手に応じた情報提供」を採り上げます。また、正確な理解と共感を得られる表現について考察を、各回毎にファシリテーターと講師の対談形式にて行います。

メーカーでマーケティング・設計・製造・お客様対応などに関わっている方、ドキュメント制作担当者・責任者、ライター、翻訳者、安全に取り組む技術者・責任者、海外関係部門の担当者・マネージャー、品質部門担当者・責任者にお奨めします。

詳細と申込方法は、下記でご確認ください。

参加申込書 (PDF) :

[seminar\\_220325](#)

ダウンロード

関連リンク: [【動画】理解する、わかりやすい、を知ることから始めよう](#)

トピック  
「認知心理学を紹介  
します」

トピックセンテンス

サポートセンテンス

トピックセンテンス  
(4回を詳述)

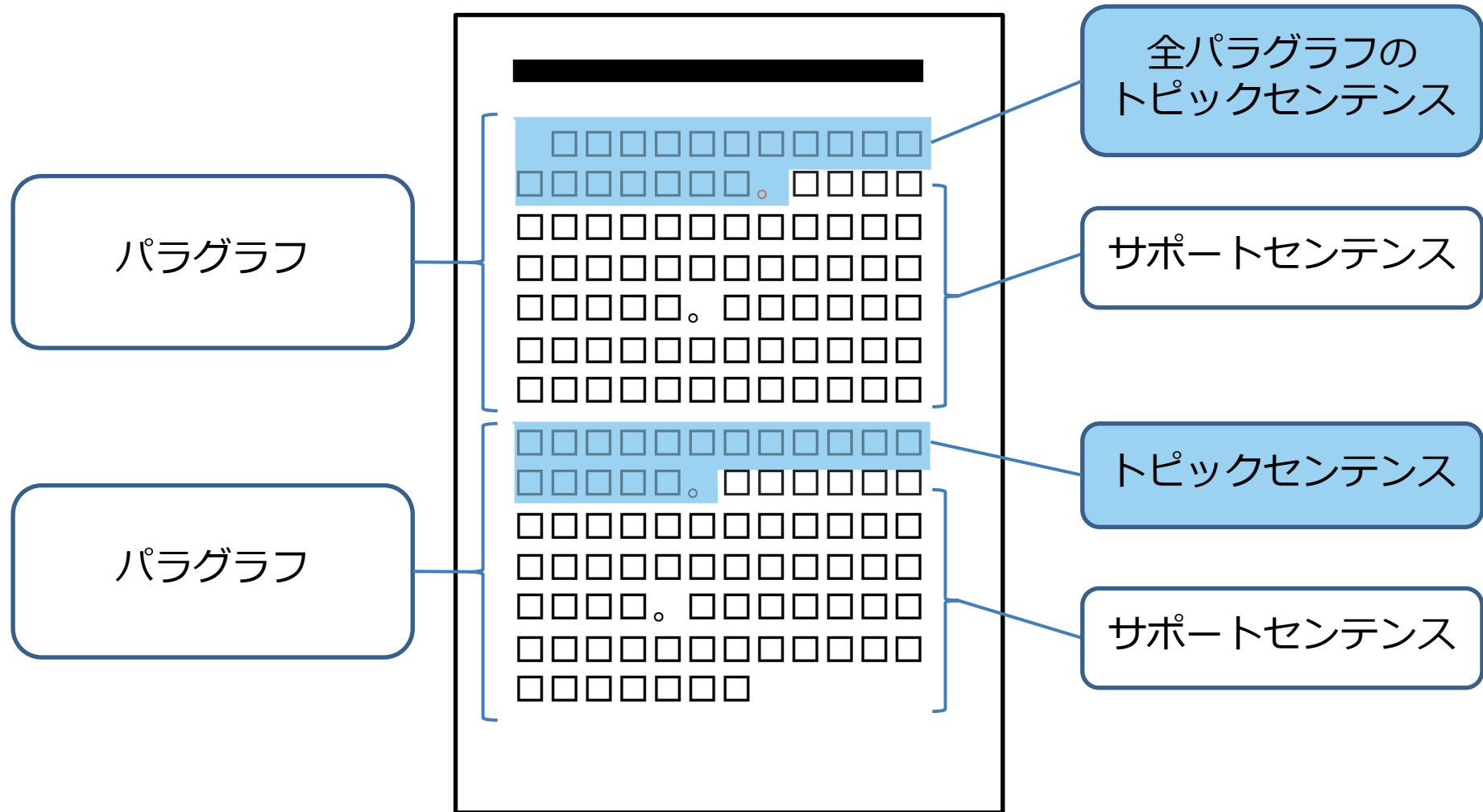
サポートセンテンス

トピックセンテンス  
(受講をお勧め)

3つのパラグラフを  
「起承結」(導入、詳述、結論)  
の順に展開している

#### 4.パラグラフの構成を考える

# パラグラフライティングで執筆できるパラグラフのイメージ



## 4.パラグラフの構成を考える

# パラグラフライティングの進め方

### ■ トピックセンテンスを書きながら

- ・ トピックセンテンスに情報を足していく
- ・ サポートセンテンスを足していく

### ■ 分かりにくくなったら、量が多くなったら

- ・ センテンスを分ける

### ■ パラグラフの構成を考えながら

- ・ どれくらいの量
- ・ どのような順番で足すか

## 5.読まれ方を考えながら書く

# パラグラフリーディングとは

- パラグラフリーディングの「お作法」を**逆手にとって**文章を「素早く」読んでいく方法
    - 文章がパラグラフリーディングで書かれている前提で読む
    - 「パラグラフ=段落」の要点をつかんで文章の全体像を理解する
    - 接続語に注目して論理展開を意識しながら読んでいく
  - 考え方のもとは英語長文の読解方法だが、日本語の「速読」としても適用
  - アカデミックライティングにおける「文献・資料の読み込み」に際しては、以下の要領で速読することが推奨されている
    - まず表題と目次と序文と索引をよく読む
    - 始めか終わりに用語説明がないかチェック
    - 飛ばし読み  
目次情報を頭に入れつつ、重要度が高いと思われる個所を、いくつか飛ばしながら読む。  
章の始めや終わり付近を選んで読む
    - 拾い読み  
飛ばし読みで概要が把握出来たら、重要と思われる個所をじっくり読む。必要に応じて、前後の個所も読む
- 速読後には、書かれている内容を正確に受け取るために、重要と判断した内容を精読する

# テクニカルライティングへと続く

## ■ パラグラフィティングは初歩的なスキル

- アカデミックライティングという世界での共通ルール
- 数段落程度のボリュームまでなら対応可能
- FAQ/チャットでは有効

## ■ 実務にはテクニカルライティングのスキルが必要

- 数段落程度では済まないボリュームを扱う
- 内容、対象読者、メンタルモデルに応じて書き分ける など
- テクニカルコミュニケーションの適用にあたっては、
  - ・表現のルールを共有できる分野（特定の産業分野、業界団体内、安全表記部分）
  - ・表現のルールを共有できない分野（一般消費者向け）を区別して表記を使い分ける

## ■ 共通の土俵としてのパラグラフィティングを再確認したうえで、 テクニカルライティングへ